# 9. 湖岸植生帯の再生パターン

養浜地区では施工直後は成立する群落が異なり、境島、石川、根田地区では、イヌビエ - オオクサキビ群落、大船津、永山ではエゾウキヤガラ群落が広く再生した。この違いは使用した浚渫土の違いではないかと考えられる。

2年目以降にはヒメガマ群落が発生、拡大するというパターンが見られた。ヨシ群落は移植株を別にするとヒメガマ群落よりやや遅れて成立し、その後面積を拡大し一部ヒメガマ群落と置き換わる再生パターンがみられた。

#### 1年目

- ・ 境島、根田、石川はイヌビエ-オオクサキビ群落が成立
- 永山、大船津はエゾウキヤガラ群落が成立
- ・根田、石川は小規模なヒメガマ群落がみられる

#### 2年目

- ・ ヒメガマ群落がワンド周辺、水際に出現
- ・ 大船津ではヒメガマ群落が全域に広がる
- ヨシ群落の小さなパッチがみられる
- ・ イヌビエ-オオクサキビ群落は減少

#### 3年目

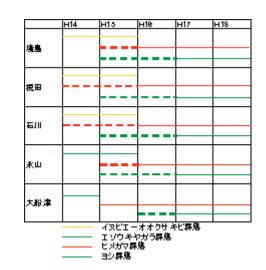
- ・ ほとんどの地区で施工3年目にはヒメガマ群落が広範囲に拡大
- ・ ヨシ群落の小さなパッチが養浜部に多数発生する
- ・ イヌビエ・オオクサキビ群落はヒメガマ群落に置き換わる

## 4年目

ヨシ群落が拡大、ヒメガマ群落がやや減少

### 5年目

・ヨシ群落がさらに拡大、ヒメガマ群落が減少



その他

・2年目にはヒメガマ群落がワンド、水際に成立した。 ・3年目にはヒメガマ群落が全域に広がった。 ・4年目以降ヨシ群落が拡大しつつある。 H14 H15 H16 H17 凡例 沈水植物群落 浮葉植物群落B H18 ヨシ群落 ヒメガマ群落B カサスゲーヨシ群落 エゾウキヤガラ群落